

佐賀県公立学校教頭会 会長挨拶

会長 足立 成美

黄金色に染まる麦の田を渡る風に心地よさを感じる麦秋のみぎり、令和7年度の定期総会を終え、新体制でのスタート切ることができました。

これも、佐賀県教育委員会、市町教育長連合会、佐賀県小中学校校長会等、各関係機関の皆様方に、日頃より、私たち教頭の職務や本会の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜っているお陰であり、深く感謝申し上げます。

昨今の教育現場は、子どもたちの多様な背景、教職員の働き方改革、ICT活用、地域との連携など、実に多様で複雑な課題を抱えております。そうした中、我々教頭は学校経営の実務を担いながら、多くの業務に日々奮闘しているところで

す。このような中で、本教頭会は非常に重要な役割を果たしております。各校の教頭が集い、それぞれの現場での取り組みや悩みを共有し合うことにより、実践的な知見を深め、共通の課題に対する解決の糸口を探ることができます。また、時代の変化に即応した学校運営のあり方について、横のつながりの中で学び合うことは、私たち教頭にとって大きな支えであり、成長の機会ともなっています。

さらに、教頭会は、各学校間の連携を強化し、地域全体の教育力を高めるための重要なネットワークの役割も果たしています。学校単独では対応が難しい課題にも、連携することで新たな可能性が見えてくる。それが、この教頭会の力であると確信しております。

本会は、各地区単位で3年間で1期とした研究に取り組み、毎年県大会を開催しております。各地区で研究を進めそれを発表すること、そして参加者がその提案に学ぶことは、まさに本教頭会の意義であり貴重な機会です。令和7年度は、13期研究の最終年度であり、8月に県大会を開催します。発表の準備に向けて忙しくさせていることも心苦しく感じていますが、どうぞよろしくお願い致します。また、令和8年度は、佐賀県で九州大会を開催します。その開催に向けて本年度より準備を進めてまいります。大きな大会ですので、大変なことも多くございますが、全員で協力して取り組んでまいりましょう。

会員の皆様方と、活動方針等を常に共有し、歩みを共に確認し、より実りある活動へとつなげていければと思います。

本年度の活動を支えてくださいよろしくお願い致します。